

失敗、苦労はあるが農業は楽しい！

夏秋いちご
就農5年目



さとう

佐藤

わたる

航さん（37歳）



むつ市

History

（就農まで）

むつ市出身。神奈川県で色々な職業を経験してきたが、会社組織の中で、自分が考える仕事の進め方ができないことに違和感を抱いていた。

Uターンして実兄の農作業を手伝ううちに、面白さとやりがいを感じるようになった。

自分で考えたことが実現できる！

農業に魅力を感じ、就農に向けて青森県下北地域県民局に相談したところ、下北地域で力を入れている夏秋いちごを勧められた。

その後、地域のいちご農家で研修を受け、いちごの栽培技術やビニールハウスの設置方法等、ノウハウを学んだ。農地は、研修先の紹介で借りることができ、必要な整備を進めて、念願のビニールハウスを設置した。

農地の確保やビニールハウスの設置、冷蔵庫や軽トラック等の資金確保に苦労したが、国や県の支援事業を活用して農業を開始した。

《活用した支援事業》

- ・ 農業次世代人材投資資金（準備型1年）（経営開始型5年）
- ・ 産地パワーアップ支援事業
- ・ 青森県非農家出身者再チャレンジ支援事業



Farm

（経営概要）

- 経営面積：21a（ビニールハウス7棟）
- 栽培品目：夏秋いちご（すずあかね）
- 主な保有機械：トラクター、自動かん水装置
- 労働力：本人、パート従業員3名
- 販売先：野菜仲卸業者、地方卸売市場など

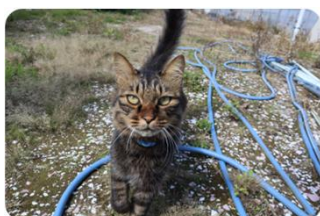
Own Style (自分流)



下北地域の夏秋いちごは、主力産地の出回りが少ない時期に出荷

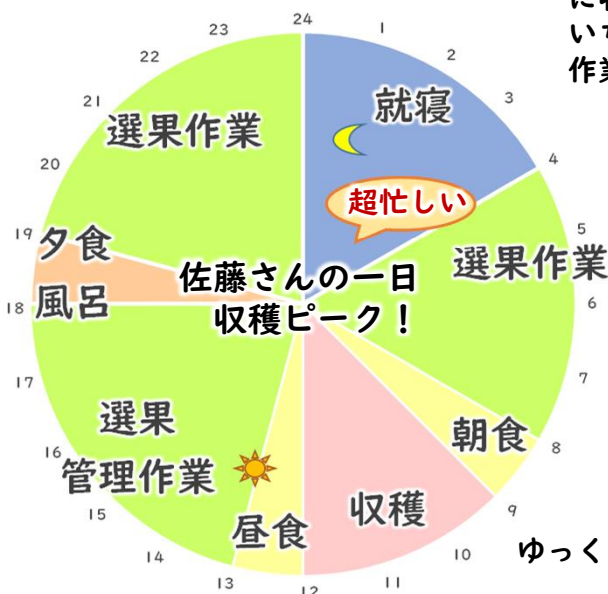
良品のいちごを継続して出荷するため、収穫・選果作業とかん水、薬剤散布、株整理などの管理作業を並行してやるのが、とても重要で大変。

夏は換気のためハウスを開放してるけど…令和5年の夏は暑くて、いちごも、自分も、参りました。



ハウスの管理猫
プーマくん

収穫作業は午前中！
出荷時間に間に合うように収穫ピーク期は大量のいちごを自分の目で選果作業に集中。



食事もある時間があれば食べる感じ。

オフの期間は趣味の釣りなどしてゆっくり鋭気を養っています。

Vision

(戦略・将来像)

収穫時期は寝る暇もないくらい忙しいが、良品質のものを継続して生産・出荷できるように、今後も栽培技術を磨いていく。ビニールハウスを増設し、需要がある長ねぎも取り組んで、収益の安定を目指します。

Photo album

(写真集)



いちごの確実な受粉のため養蜂家の協力でハチを導入



香りと甘さと酸味がマッチ「すずあかね」



いちごの収穫作業の様子

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

自然が相手なので、失敗や苦労は数えきれないほどあるが、頑張った分が結果につながるの、面白くやりがいが生まれます。

失敗や苦労をすることで、自ら調べ勉強するので、何より自身の成長につながります。苦労は買ってでもした方がよいと思います。



就農5年目。まだまだ勉強中！



おおむろ

大室

りょう

涼さん (29歳)



History

(就農まで)

むつ市出身。就農前は海上自衛官。仲卸業(野菜)の父から「下北地域の夏秋いちごは、まだ無名だが伸びしろがある。」と聞き興味をもった。一生働ける仕事をしたい、農業に参入したい、との思いから、思い切って退官し、就農することに。

悩んだ末…夏秋いちごに決めた！

青森県下北地域県民局に就農相談したところ、トマトや夏秋いちご栽培の園芸農家を紹介され、4ヶ月間の農業研修を行った。

「夏秋いちごの栽培は難しいが、収入は期待できる！」
父や研修先、夏秋いちごを栽培している同級生から勧められ、挑戦することを決意。

就農時は、農地の確保を始め、なにから、どうやればいいのかも、わからないことばかり。研修先をはじめ周囲のいちご農家等に相談して、一つ一つ課題を解決していき、ビニールハウス4棟からスタートした。

徐々に規模拡大し、令和4年には就農時の目標だった8棟を達成した。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金(経営開始型5年)

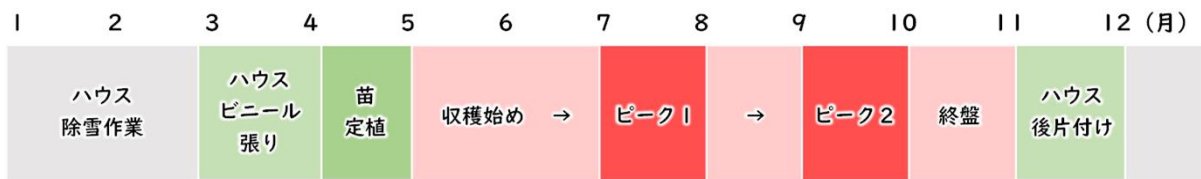


Farm (経営概要)

- 経営面積：30a
(ビニールハウス8棟)
- 栽培品目：夏秋いちご
(すずあかね6棟、赤い妖精2棟)
- 主な保有機械：トラクター、自動かん水装置
- 労働力：本人、パート7名
- 販売先：野菜仲卸8割、市場2割

Own Style (自分流)

大室さんの一年



一年はこんな感じ。

5月から収穫が始まります。

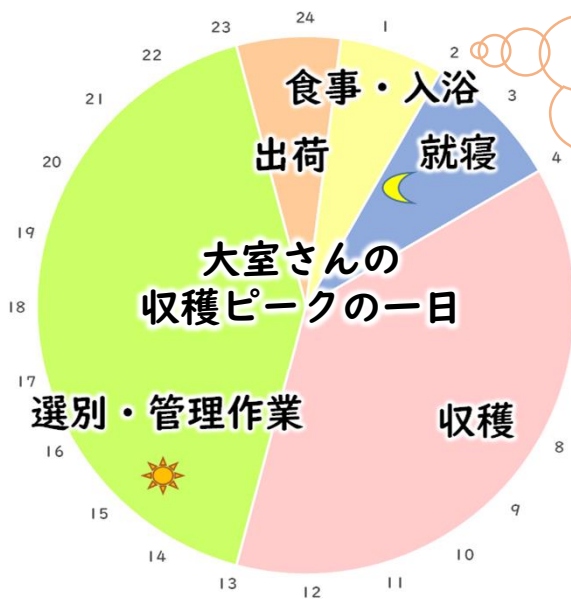
ハウス保守のため、冬季の徐雪作業も重要です。



養蜂家の協力で
受粉のため頑張るハチ

SNSで情報交換

全国のいちご農家と
繋がっています。
暑さ対策も
情報をいただきました。



収穫期はなんとー！
食事は基本的に一日一回。
今では体が慣れました。

←←収穫のピーク時は
こんなに忙しくなります
忙しい時は
寝るヒマもありません。

一番の楽しみは…

今は家族、
子供と遊ぶこと。

Vision

(戦略・将来像)

収穫ピーク時は人手の確保など色々大変だが、全国のいちご農家の情報を集め、効率化を図りながら、もう少しハウスを増やしたい。

安定して高品質ないちごと収穫量を確保することで、家族が安定して生活していけるのが目標。

Photo album

(写真集)



長い棒で天井まで大開放



きちんと手入れされたハウス内



おいしそうないちご

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

夏秋いちご栽培は難しい。その農地（土壌特性や水分など）に適した栽培方法が必要なので、マニュアル通りの栽培ができない。手を抜けば、そのまま収穫量や品質に返ってくるので、しっかり観察して手を抜かないこと。自分で考えて行動した結果が自分に返ってくることが魅力！

気合で何とかなる! 最後は「力技」!!

きゅうり
就農5年目

くどう

工藤

りゅうすけ

龍輔さん (37歳)



History (就農まで)

鶴田町出身。将来は農業に関わる仕事に就きたいと思い、高校卒業後は青森県営農大学校に入学し、ながいも栽培を専攻。卒業後は一旦農業系の県内企業に就職したものの、仕事に追われ、これが将来やりたかった仕事なのかと考え、長男であるため実家に戻り、JA職員となったが、父の病気を機に就農を決意しJAを退職。就農に当たっては、JA勤務時に感じていた「単一作物の経営ではなく経営安定や危険分散を図るために複合経営を行うこと」を目指し令和元年に就農した。

りんごと野菜の複合経営を目指す!

就農時に、実家のりんご園から60aを譲り受け、すぐに更新のため改植を実施した。複合経営を行うため、うち10aに露地栽培きゅうりをJA指導を受け作付けを始めた。改植りんご園は、令和6年頃から収穫が可能となる。現在りんごの収入がないので9月はJAでアルバイトをしている。きゅうり栽培は軌道に乗ったものの、朝夕の収穫作業で休めないため、令和5年からピーマンの試験栽培を始めた。いずれは半々の栽培面積にしたい。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(経営開始型5年)
- ・たい肥購入支援事業及び
きゅうり用支柱支援事業
(JA単独事業)



Farm (経営概要)

- 経営面積: 60a
- 栽培品目: きゅうり、ピーマン、りんご
- 主な保有機械: トラクター用耕うんロータリー
(その他農業機械は両親から借用)
- 労働力: 本人 (繁忙期: 本当に困ったら妻)
- 販売先: JA

Own Style (自分流)

工藤さんの一年

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)

《 きゅうり 》 準備 → 定植 → 管理 → 収穫始め → 収穫終わり

《 りんご 》 剪定 剪定枝片付け → → 管理 → → 収穫始め → 収穫終わり 剪定

アルバイト

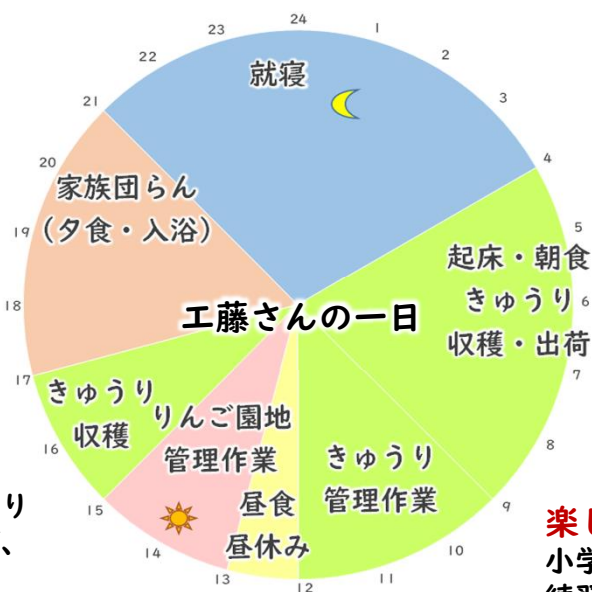
一人で大丈夫？

気合で何とかしている。最後は「力技」で対応。農業はキツイが頑張った分だけ自分に返ってくるもの。

猛暑をしのいだ？
自作の休憩所。



ピーマンは高温障害により商品化はわずかでしたが、いい勉強になりました。



趣味は？
漫画を読むこと。

楽しみは！
小学生の子供の野球応援と練習の手伝いです。

Vision

(戦略・将来像)

将来は実家のりんご園 (1ha) を引き継いで計画的に改植を行っていきたい。

「りんごと野菜の複合経営で目指せ売上一千万円！」

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

いろいろな人とのつながりを大事にしましょう。特に仲間は大事!!

Photo album

(写真集)



きゅうりの収穫は休めない



ピーマンの栽培方法を習得



来年からりんご収穫が始まる

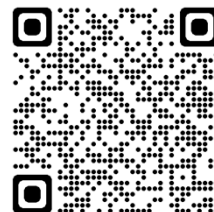
新規就農に関する情報は、
農林水産省及び東北農政局のホームページでご覧いただけます。

農林水産省ホームページ
<https://www.maff.go.jp/>



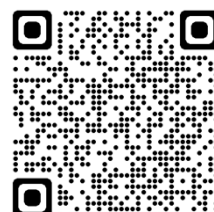
新規就農の促進
(農林水産省ホームページ内)
https://www.maff.go.jp/new_farmer/

- ・ 施策情報（新規就農者への支援等）
- ・ 参考情報（新規就農に関する資料等）



あふてらす
(農林水産省ホームページ内)
https://www.maff.go.jp/aff_terrace/

農業に興味がある方、これから始めたい方向けの
情報を発信しています。



東北農政局ホームページ
<https://www.maff.go.jp/tohoku>



MAFFアプリ（マファアプリ）

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール



編集後記

「青森で農業はじめました」をご覧くださいありがとうございます。
この事例集は、東北農政局青森県拠点の職員が、新規就農者の畑やハウスに直接お邪魔して取材を行い、皆様から伺った農業に対する熱い想いやライフスタイル、将来へのビジョン、今後、農業を始めたい皆さんへの応援メッセージなどを取りまとめたものです。

本事例集を手にとっていただいた方の中には、農業に関心がある方や既に就農準備を始めている方もいらっしゃるかも知れません。

そのような方々の参考になれば幸いと考えております。

お忙しい中、取材にご協力いただいた新規就農者の皆様をはじめ、新規就農者をご紹介いただいた関係機関の皆様におかれましては、紙面をお借りして心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

東北農政局青森県拠点では、農業現場の生の声や様々な取り組みを幅広く皆様にご紹介していきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

東北農政局 青森県拠点
地方参事官室 一同



青森で 農業をはじめませんか！

編集発行：東北農政局 青森県拠点 地方参事官室

電 話：017-775-2151

F A X：017-723-3840

〒030-0861 青森県青森市長島一丁目3-25

(青森法務総合庁舎4階)

問い合わせ先 地方参事官室 (石川、葛西、木村、新山)